

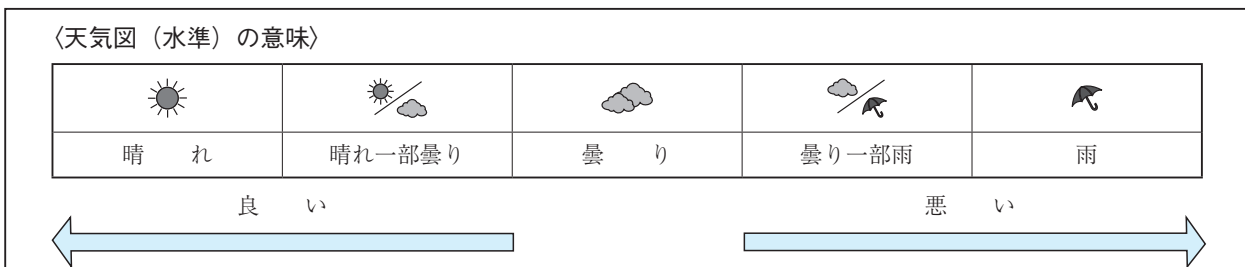
福島経済マンスリー

4月の県内経済は、一部に弱い動きがみられ、全体では持ち直しの動きが緩やかになっている。

1. 2018年4月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動の弱さに加え、住宅投資が震災前を上回りながらも減少基調で推移するなど、全体では持ち直しの動きが緩やかになっている。	➡	☀️/☁️
消費動向	大型小売店販売額(全店舗)は、スーパーが6カ月連続で前年を上回ったものの、百貨店が8カ月連続で前年を下回り、合計でも5カ月ぶりに前年を下回った。乗用車新車登録台数は軽自動車が前年を上回ったものの、普通車、小型車がともに前年を下回った。	➡	☀️/☁️
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が5カ月連続、請負金額と保証金額が2カ月ぶりに前年を下回った。震災前を上回る水準を維持しながらも、復旧・復興の進捗に伴い、基調としては減少が続いている。	➡	☁️
設備投資	民間非居住用建築着工は、棟数が4カ月ぶりに前年を上回ったものの、床面積と工事費予定額が2カ月連続で前年を下回った。	➡	☀️/☁️
住宅投資	新設住宅着工戸数は、持家が6カ月ぶりに前年を上回ったものの、貸家と分譲が3カ月連続で前年を下回り、全体でも3カ月連続で前年を下回った。特に、震災後に急増した貸家の減少が目立っている。	➡	☁️
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比(季節調整済指数)が+3.7%と2カ月連続で前月を上回った。業種別の前月比をみると、「情報通信機械工業」など8業種で上昇し、「窯業・土石製品工業」など11業種で低下した。	➡	☁️
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月比+0.02ポイント、原数値が前年同月比+0.07ポイントとなった。一方、雇用保険受給者実人員は前年同月比△1.7%と3カ月連続で前年を下回った。	➡	☀️

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（↗️：改善、➡️：不変、↘️：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較等を参考に、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断、鉱工業生産指数は3月データ。



2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：%、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2017年11月	12 月	2018年1月	2 月	3 月	4 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 0.1	0.7	0.0	0.5	0.4	△ 0.0
	乗用車新車登録台数	△ 3.7	△ 10.7	△ 0.7	△ 5.2	△ 6.4	△ 2.6
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 26.5	△ 52.0	△ 32.3	△ 17.3	12.9	△ 3.2
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	40.0	2.5	△ 53.4	10.1	△ 8.4	△ 27.8
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 16.8	△ 19.8	5.4	△ 5.3	△ 30.9	△ 19.9
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 2.1	2.6	△ 0.6	r △ 0.9	△ 0.6	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.02	0.07	0.08	0.07	0.04	0.07
	雇用保険受給者実人員	5.5	2.3	0.1	△ 5.3	△ 6.6	△ 1.7

注1 鉱工業生産指数は原指数、有効求人倍率は原数値。Pは速報値、rは訂正值。

(2) 前月比

(単位：%、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2017年11月	12 月	2018年1月	2 月	3 月	4 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 0.0	26.3	△ 17.3	△ 10.8	11.6	△ 4.9
	乗用車新車登録台数	3.0	△ 12.4	15.5	8.3	59.3	△ 49.1
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 36.2	22.6	△ 3.3	△ 9.6	91.4	△ 26.8
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	△ 21.0	△ 9.2	△ 19.4	△ 3.8	37.5	46.4
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 25.0	7.7	△ 18.0	4.3	△ 24.4	44.9
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 0.1	4.1	△ 8.1	r 3.8	3.7	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.01	0.02	0.01	△ 0.02	0.02	0.02
	雇用保険受給者実人員	△ 4.9	△ 6.6	△ 0.2	△ 5.6	1.3	△ 0.9

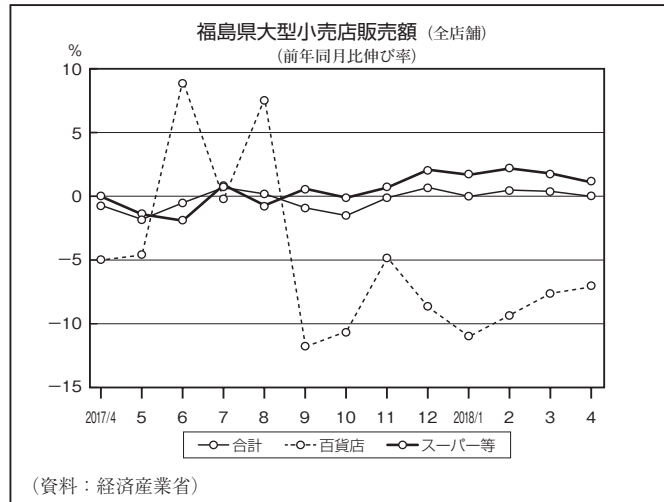
注2 鉱工業生産指数は季節調整済指数、有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

3. 県内経済動向

消費動向

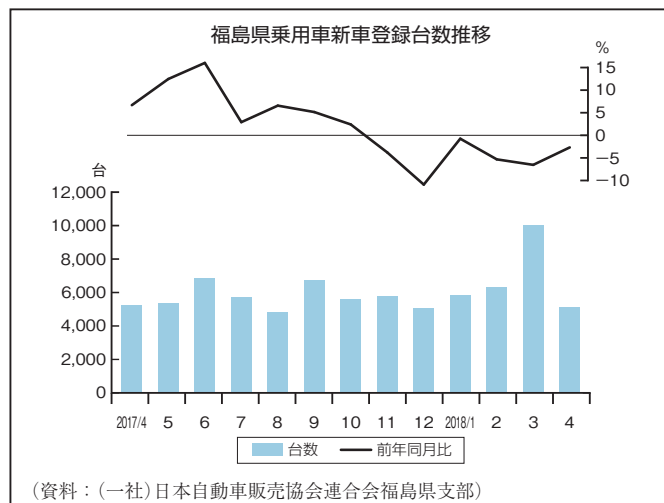
大型小売店：5カ月ぶりに前年比減

4月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で201億81百万円（前年同月比△0.0%）とわずかながら5カ月ぶりに前年を下回った。業態別で見ると、百貨店は、衣料品、飲食料品がともに前年を下回り、合計では同△7.1%となった。一方、スーパーは、衣料品が前年を下回ったものの、飲食料品が前年を上回ったことから、合計では同+1.1%となった。



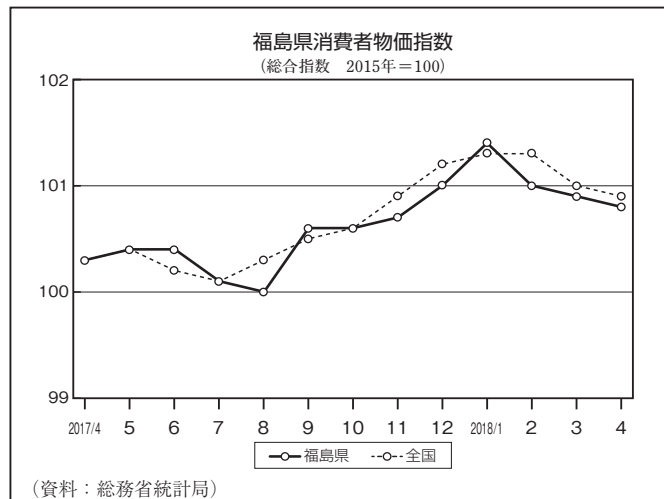
乗用車販売：6カ月連続で前年比減

4月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で5,108台（前年同月比△2.6%）と、6カ月連続で前年を下回った。車種別で見ると、軽乗用車が2,151台（同+2.5%）と2カ月連続で前年を上回ったものの、普通車が1,432台（同△3.5%）で4カ月連続、小型車が1,525台（同△8.2%）で7カ月連続と、ともに前年を下回った。



消費者物価指数：前年比は上昇、前月比は低下

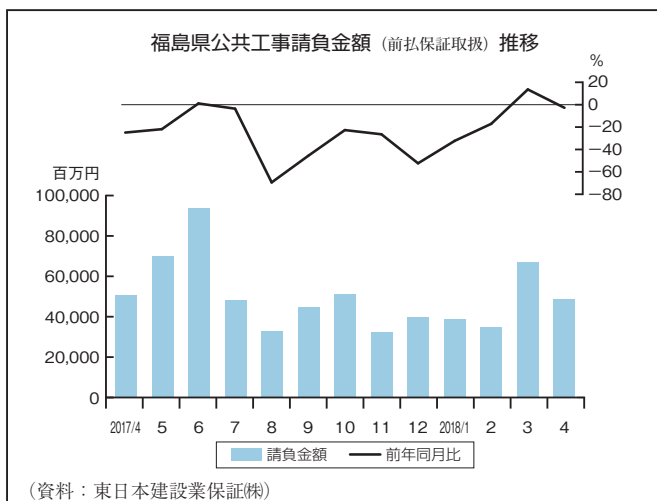
4月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2015年=100）が100.8で前年同月比+0.5%、前月比△0.2%となった。費目別に前月比で見ると、「被服及び履物」の101.3（同+4.8%）など6費目で上昇し、下降したのは「食料」の102.7（同△1.3%）など3費目となった。



公共投資

公共工事：請負金額は2カ月ぶりに前年比減

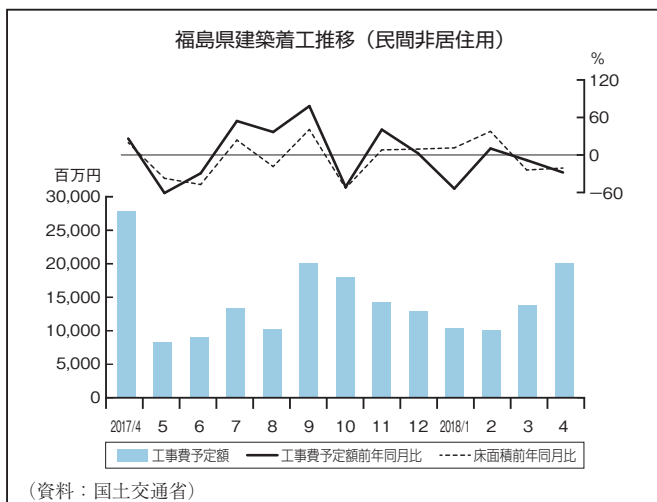
4月の公共工事前払保証取扱は、件数が418件（前年同月比△5.2%）で5カ月連続、請負金額が491億78百万円（同△3.2%）で2カ月ぶり、保証金額が223億90百万円（同△19.2%）で2カ月ぶりに、いずれも前年を下回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額は2カ月連続で前年比減

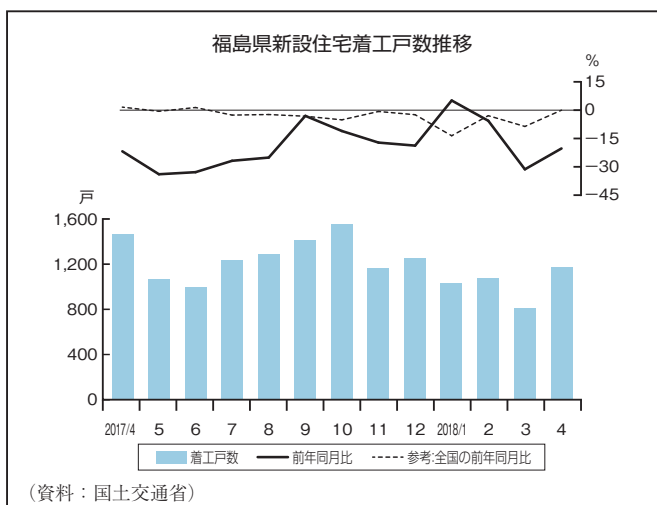
4月の建築着工（民間非居住用）は、棟数が183棟（前年同月比+4.6%）と4カ月ぶりに前年を上回ったものの、床面積が84,896㎡（同△20.8%）で2カ月連続、工事費予定額が201億57百万円（同△27.8%）で2カ月連続と、ともに前年を下回った。



住宅投資

住宅建設：着工戸数は3カ月連続で前年比減

4月の県内新設住宅着工戸数は、1,174戸（前年同月比△19.9%）と3カ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」が601戸（同+6.6%）で6カ月ぶりに前年を上回ったものの、「貸家」が399戸（同△43.2%）で3カ月連続、「分譲」が159戸（同△10.2%）で3カ月連続と、ともに前年を下回った。

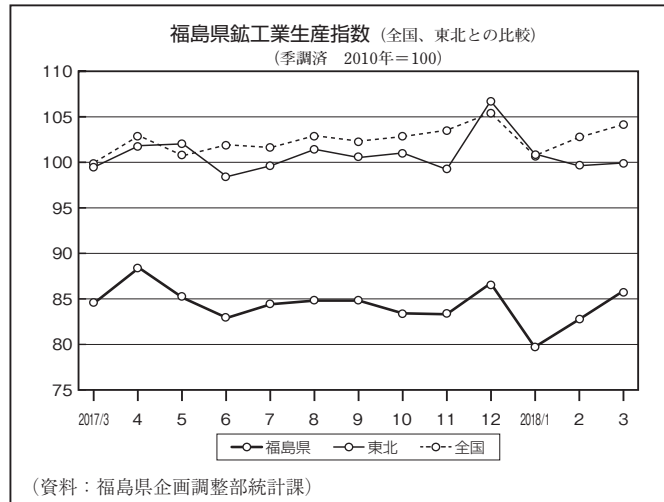


生産活動

※鉱工業生産指数は3月のデータ

鉱工業生産指数：前月比上昇、前年比低下

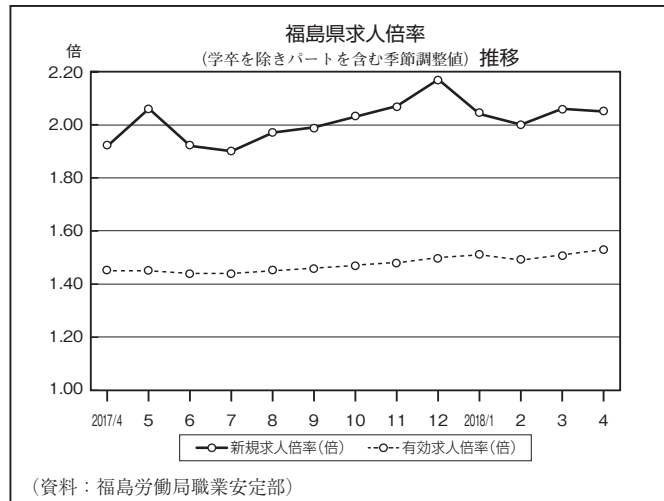
3月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は85.8で前月比+3.7%と2カ月連続で前月値を上回った。一方、原指数は94.6で前年比△0.6%と3カ月連続で前年値を下回った。業種別の季節調整済指数をみると、「情報通信機械工業」（前月比+46.6%）など8業種で上昇し、「窯業・土石製品工業」（同△20.6%）など11業種で低下した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は前月比・前年比ともに上昇

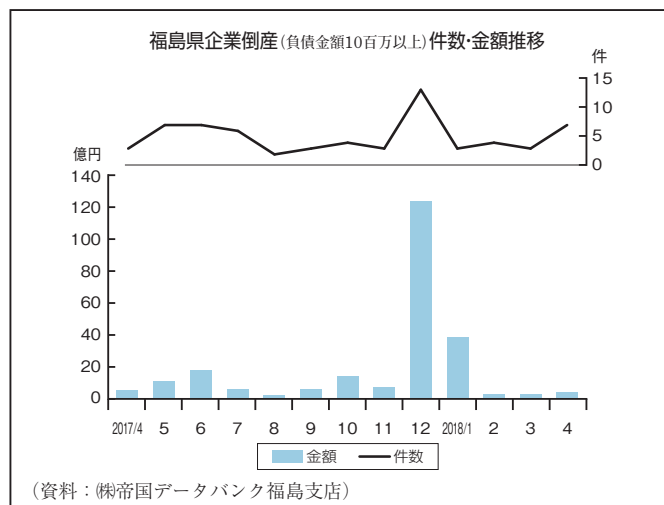
4月の新規求人倍率は、季節調整値が2.05倍（前月比△0.01ポイント）、原数値が1.60倍（前年同月比+0.10ポイント）となった。また、4月の有効求人倍率は、季節調整値が1.53倍（前月比+0.02ポイント）、原数値が1.40倍（前年同月比+0.07ポイント）となった。一方、4月の雇用保険受給者実人員は5,447人（前年同月比△1.7%）と3カ月連続で前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：金額は前年比減

4月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が7件（前年同月比+133.3%）で前年を上回ったものの、負債総額が3億77百万円（同△29.7%）で前年を下回った。業種別では、建設業と卸売業で各2件、小売業、不動産業、サービス業で1件ずつとなった。

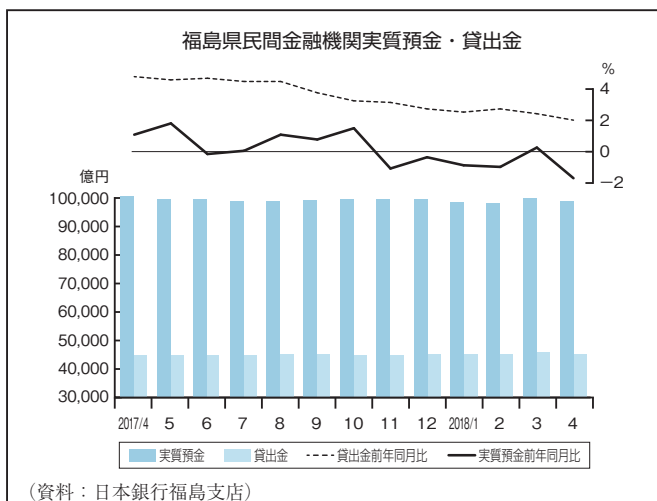


金融動向

資金需給：実質預金は前年比減

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の4月末の実質預金残高は、9兆9,147億円（前年同月比△1.7%）と2カ月ぶりに前年を下回った。一方、貸出金残高は、4兆5,422億円（同+1.9%）と4年11カ月連続で前年を上回っている。

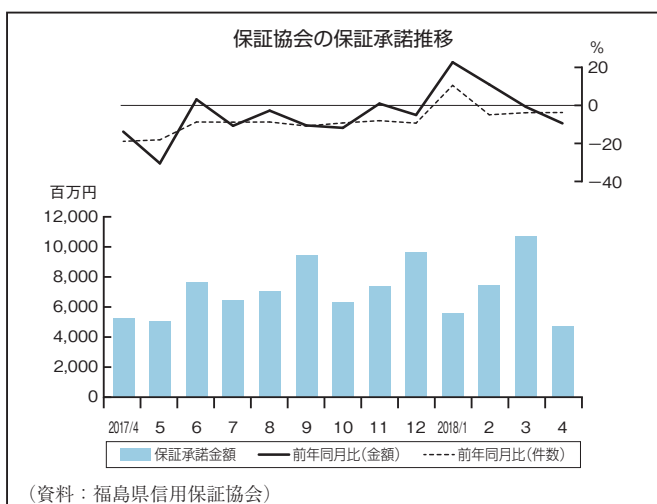
※実質預金は、総預金から手形・小切手を控除したものの。



保証協会：保証承諾は件数・金額ともに前年比減

4月の保証承諾は、件数が431件（前年同月比△3.8%）、保証金額が47億5百万円（同△9.5%）となった。また、4月末日現在の保証債務残高は、件数33,109件（同△9.7%）、金額2,801億10百万円（同△11.0%）となった。

一方、4月中の代位弁済は、件数が46件、金額が4億94百万円となった。



4. 業種別動向

消費動向

※企業ヒアリング等による結果

家電大型専門店 4月の家電大型専門店の売上高は、スマートフォンや冷蔵庫などが前年を上回ったものの、合計では前年比ほぼ横ばいとなった。

ホームセンター 4月のホームセンターの売上高は、園芸・農業資材、植物などが前年比増加し、合計では前年をやや上回った。

旅行 4月の旅行取扱額は、個人旅行が国内・海

外ともに前年並となり、全体でも前年比横ばいとなった。

高速道路 4月の県内自動車道出入台数は、合計で5,005,151台（前年同月比△4.1%）と、4カ月連続で前年を下回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）が2,607,064台（同+1.8%）で3カ月ぶり、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）が586,358台（同+3.8%）で4カ月ぶりに前年を上回ったものの、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）が411,522台（同△4.0%）で2カ月連続、常磐自動車道（いわき

勿来 IC～新地 IC) が1,400,207台 (同△15.9%) で8カ月連続と、ともに前年を下回った。

福島空港 4月の福島空港国内定期路線の利用客数は、19,197人 (前年同月比+8.9%) と2カ月ぶりに前年を上回った。路線別にみると、札幌便が3,756人 (同+5.0%) で2カ月ぶり、大阪便が15,441人 (同+9.9%) で4カ月連続と、ともに前年を上回った。(国際定期路線は全便運休)

生産活動

※企業ヒアリング等による結果

化学 4月の高機能樹脂は、自動車の部品用素材向けや家庭用製品の需要が堅調に推移しており、生産水準は前年を上回っている。

鉄鋼・金属 4月の伸銅品の生産は、半導体向け電子材が前年を15%ほど下回ったものの、自動車向け端子材が前年を10%ほど上回るなどし、全体でも前年をやや上回った。4月の建機用鋳造品の生産は、需要拡大に伴い前年を20%ほど上回った。4月の鋳鋼品の生産は、船用・車輛部品が前年を10%ほど上回ったものの、バルブ部品は前年を15%ほど下回った。

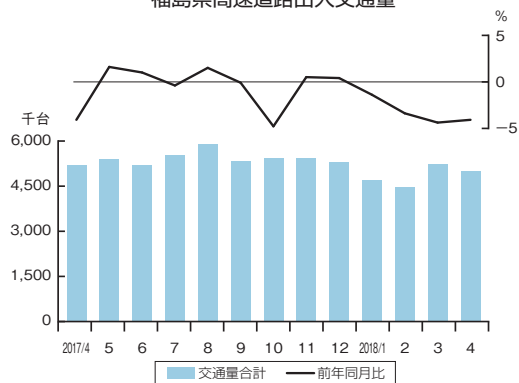
輸送用機械 4月の自動車用鋳造品は、トラック用の受注が引き続き好調で、前年を5%ほど上回る生産となった。また、オイルシールは、国内外の自動車向けの受注増などから、生産水準は前年を上回る状況が続いている。

電気機械 4月の電気機械の生産は、車載モータが前年を下回ったものの、配電盤や変圧器などが前年を上回り、合計でも前年を30%ほど上回った。

情報通信機械 4月の情報処理装置の生産は、前年をやや下回ったものの、受注状況は安定している。

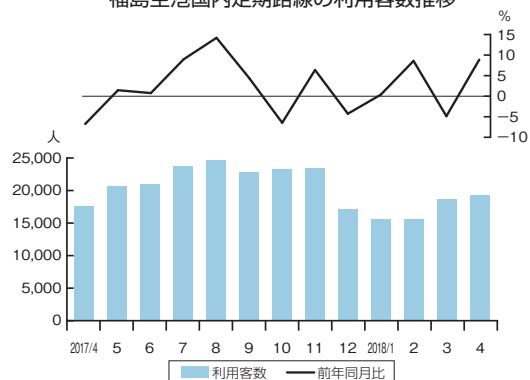
電子部品・デバイス 4月のLSI (大規模集積回

福島県高速道路出入交通量



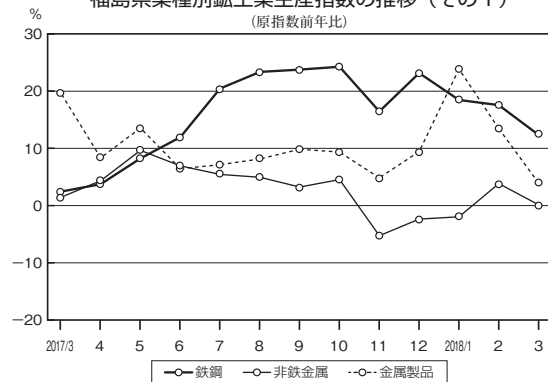
(資料：東日本高速道路(株)東北支社)

福島空港国内定期路線の利用客数推移



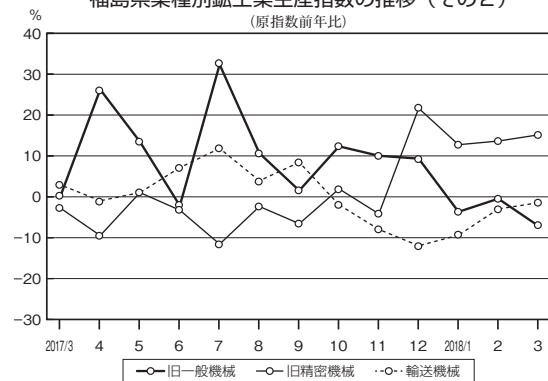
(資料：福島県商工労働部空港交流課)

福島県業種別鋳工業生産指数の推移 (その1)



(資料：福島県企画調整部統計課)

福島県業種別鋳工業生産指数の推移 (その2)



(資料：福島県企画調整部統計課)

路)の生産は、前年比で70%ほど増加、前月比でも20%ほど増加し、需要回復による生産増加がみられる。

精密機械 4月の医療用内視鏡は、大幅な増加がみられた前年との比較ではやや下回ったものの、国内外ともに好調な受注を維持している。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、受注が国内外ともに引き続き好調で、フル稼働の生産が続いている。

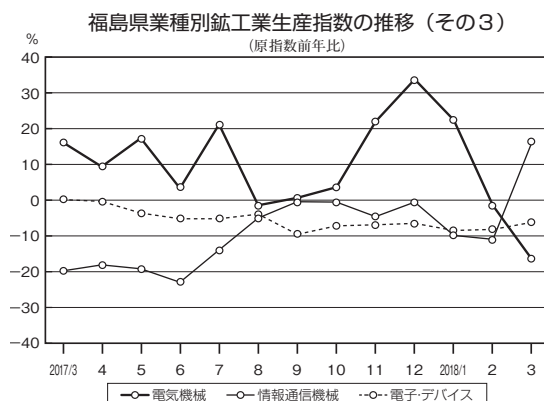
窯業・土石 4月の生コンクリート出荷量は、全体で128,131m³(前年同月比△9.5%)と2カ月連続で前年を下回った。地域別にみると、官公需では学校や体育館建設、湾岸復旧工事が進む相双地域のみ前年を上回った。一方、民需で前年を上回ったのは、マンションや病院関連施設などの建設が進む県中地域、ダムや発電所などの建設が進む会津地域となった。

紙・紙加工品 4月の製紙の生産は、感熱紙で国内・海外ともに需要の増加がみられるものの、ノーカーボン紙は需要の減少が続いており、全体では前年をやや下回った。

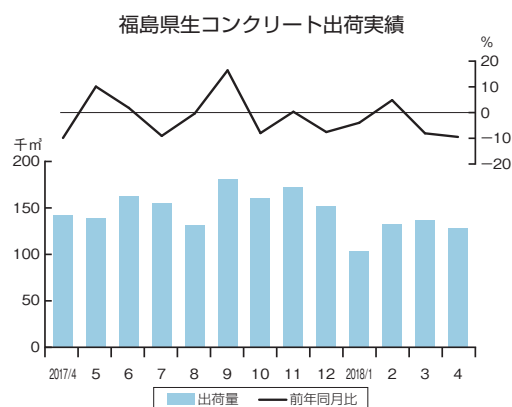
清酒 4月の清酒移出数量は、1,126kL(前年同月比△2.3%)と2カ月連続で前年を下回った。酒類別では、一般酒(特定名称酒以外の酒)が502kL(同△8.0%)と2カ月連続で前年を下回ったものの、特定名称酒(吟醸酒・純米酒・本醸造酒)が625kL(同+2.9%)で2カ月ぶりに前年を上回った。

化合繊維物 4月の化合繊維物は、生産額が前年を10%ほど上回り、好調な生産を維持している。

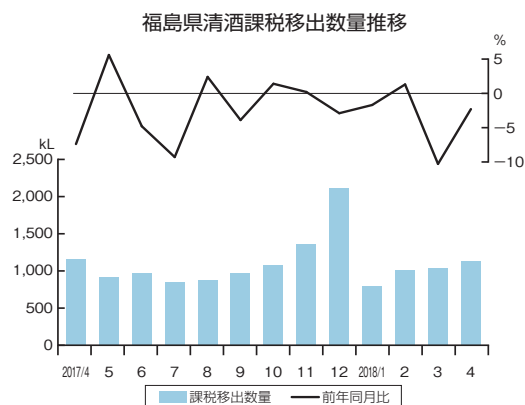
ニット 4月のニットは、秋冬物のサンプル品の生産が中心となり、生産額は前年比ほぼ横ばいとなった。



(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)